

ボランティアの善意に支えられ活動する「いのちの電話」～社会福祉法人和歌山いのちの電話協会～

1953年にイギリスのロンドンで自殺予防のための電話相談活動が始まり、その活動は世界に広がりました。1971年に東京でいのちの電話相談活動が始まったのが、日本での最初の活動です。和歌山いのちの電話協会は、全国で24番目に組織が設立され、1985年から35年活動を続けています。今回は、社会福祉法人和歌山いのちの電話協会の事務局長小西慶直さんに、活動についてお話を伺いました。



事務局長の小西慶直さん

ボランティアにも コロナの影響

全国の50センターで約6,000人のボランティア相談員がいます。和歌山いのちの電話では約130人の方々が活動に取り組んでいます。主婦・会社員・自営業者・行政関係者・引

年中無休で活動

和歌山いのちの電話協会は、午前10時から午後10時まで、年中無休で電話による相談を受け付けています。毎月10日は、全国の相談センターが連携し、24時間体制で、電話相談をおこなっています。



新型コロナに 関する相談が増加

コロナの影響が表面化し始めてから、「明日の生活をどうするお金がない」「家賃が払えない」という若い世代からの相談が増えたそうです。

新型コロナに 関する相談が増加

コロナの影響が表面化し始めてから、「明日の生活をどうするお金がない」「家賃が払えない」という若い世代からの相談が増えたそうです。

新型コロナに 関する相談が増加

コロナの影響が表面化し始めてから、「明日の生活をどうするお金がない」「家賃が払えない」という若い世代からの相談が増えたそうです。

新型コロナに 関する相談が増加

コロナの影響が表面化し始めてから、「明日の生活をどうするお金がない」「家賃が払えない」という若い世代からの相談が増えたそうです。

新型コロナに 関する相談が増加

コロナの影響が表面化し始めてから、「明日の生活をどうするお金がない」「家賃が払えない」という若い世代からの相談が増えたそうです。

新型コロナに 関する相談が増加

コロナの影響が表面化し始めてから、「明日の生活をどうするお金がない」「家賃が払えない」という若い世代からの相談が増えたそうです。

新型コロナに 関する相談が増加

コロナの影響が表面化し始めてから、「明日の生活をどうするお金がない」「家賃が払えない」という若い世代からの相談が増えたそうです。

新型コロナに 関する相談が増加

コロナの影響が表面化し始めてから、「明日の生活をどうするお金がない」「家賃が払えない」という若い世代からの相談が増えたそうです。

いのちの電話相談員養成講座

【日 時】 2021年5月22日～10月16日
原則毎月2回の土曜日開催
13時30分～16時30分
【場 所】 和歌山市中央コミュニティセンター (予定)
【受講料】 15,000円/申込金3,000円 (実習は無料)
*申込金の返却はいたしません。

【受講資格】
① 資格・経験は問いません。
② 23歳以上70歳以下の方 (2021年4月1日現在)
③ 心身ともに健康で、当協会ボランティアとして奉仕する志を持つ人
※ お問合せ先等は左記をご覧ください。

電話相談員を募集

和歌山いのちの電話協会は、相談員を募集しています。相談員になるには、約半年の相談員養成講座を受講します。適性面接、実習を経た人が準相談員となり、さらに1年経験を積み、相談員認定審査に合格すると、正式に相談員として活動できます。

電話相談員は無償ボランティア活動です

電話相談員は無償ボランティア活動です。長年活動を続けてきた相談員は「自分の成長に大きな影響を与えた」と振り返ります。「ボランティアの方々の善意に支えられている活動なんです。養成講座の受講料も全額負担できれば良いのですが、本当にありがたいです」と小西さんは感謝されています。



社会福祉法人和歌山いのちの電話協会
ウェブサイト <https://www.w-inochi.com/>
※いのちの電話相談員養成講座の詳細も掲載されています。
事務局 073-425-3261 (月・水・金 10:00～15:00)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生用品を無料配布します

クラウドファンディングサービス「Readyfor」が実施する『新型コロナウイルス感染症:感染拡大防止基金』に寄せられた寄付金を原資に、和歌山県内で非営利活動をおこなう団体が安心して活動できるように、衛生用品の配布をおこないます。

マスク フェイスシールド 手指消毒液 使い捨て手袋

商品の納品状況により、セット内容が変更になることがあります。
*1セット50人分を120団体に配布予定。

対象: 和歌山県内で活動する非営利団体 (任意団体含む)
2022年3月までにおこなわれる事業や活動が対象です。
締切: 第1次 3月26日/第2次 4月28日/第3次 5月28日
【ご注意】
※ 応募多数の場合は、抽選となります。
※ 4月中旬から順次発送します。
※ 活動を取材させていただくことがあります。

【両事業共通】事業や活動に利用した時の写真の提供や報告コメントをお願いすることがあります。また、Readyforへの報告に利用させていただくことがあります。
「第3回新型コロナウイルス感染症に関する和歌山県内の市民活動に対する影響のアンケート」にご協力ください

NPO・ボランティア 団体対象



お申し込みはこちらから

NPO向け IT相談支援

クラウドファンディングサービス「Readyfor」が実施する『新型コロナウイルス感染症:感染拡大防止基金』に寄せられた寄付金を原資に、和歌山県内で非営利活動をおこなう団体が安心して活動できるように、オンラインの推進事業をおこないます。

「事務所にインターネット回線をひきたいけど、誰に相談しよう？」
相談例 「ZOOMをしたいけど、どんなパソコンを買ったらいい？」
「団体で共有できるメールアドレスが欲しい」など

相談対応のみとなりますので、機材の購入や設定、環境整備に係る経費等は、自己負担となります。現状把握が必要な場合や団体メンバーへのレクチャー等が必要な場合は、訪問いたします。1回の相談につき3時間未満 (簡単な設定であれば対応可)*延長はありません。

対象: 和歌山県内に所在地があり、かつ和歌山県内で活動している非営利団体
申込は1団体につき1回に限りです。
締切: 3月26日 料金: 無料 定員: 10団体
【ご注意】
※ 申請が多数の場合は、抽選になることがありますので、ご了承ください。
※ 日程調整は、申請決定後となります。

NPO・ボランティア団体を対象にウェブ会議用のマイクスピーカーとカメラの無料レンタルも実施します。利用規約をご覧ください(貸出期間は1回につき、7日以内)。くわしくはこちらをご覧ください。



お申し込みはこちらから